

22. 11. 8(月) 文部科学省ヒヤリング

学校・家庭・地域の連携・協力について  
一富士宮の学校力育成会議提言から一

静岡県富士宮市教育委員会

1 はじめに

- 教育基本法等の改正
- 子どもを取り巻く社会状況の変化

2 富士宮の学校力育成会議開催の趣旨等について

- 学校力は、学校の職員の指導力が組織化され、家庭や地域の支援によって生まれる統合された力
- 依頼した協議事項について
  - ・望ましい学校の姿に関する事
  - ・子どもたちに身につけさせたいこと
  - ・学校と家庭・地域の協力に関する事
  - ・教職員の資質の向上に関する事

3 富士宮市の子ども像について

- 富士宮市の子ども像「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」
- 子ども像の具体「富士山は、やさしく励ましてくれたり、勇気づけたりしてくれる。そのような富士山を心に、未来に向けて、希望や夢をもって、一日一日を大切にして友だちと協力し、勉強や運動に励み、いっしょけんめい生きる子ども」

4 学校・家庭・地域の連携・協力について

- 学校力を高めるために、学校の組織力の活性化、教職員の資質の向上とともに、学校を支えてくれる家庭・地域の理解と協力は極めて重要であり、三者が協力して子どもを育てることによって、「子どもとともに育つ」という価値観を共有化することが大切
- 特に、学校教育については、三者連携・協力の意義も含め、教育方針や教育活動等について家庭・地域に積極的に情報提供し、意見等も受け止めて共通理解を図ることが肝要
- 教育の市民化が今後の重要課題

5 富士宮の学校力育成会議提言(資料：パンフレット)

- 富士宮の教育の現状と課題
- 富士宮の教育のめざす方向
- 富士宮の学校力育成会議から 12 の提言  
学校・教師への提言 5、家庭・地域への提言 3、教育委員会への提言 4

6 富士宮の学校力育成会議提言アクションプラン I (資料：パンフレット)

- 12 の提言について具体的なプラン

7 成果と課題について

- 成果について
  - ・各立場(育成会議委員)から意見を踏まえた提言に対するアクションプランに説得力があり好評(ニーズに応じた教育施策)
  - ・育成会議 8 回及び関連講演会 6 回等を公開して実施し、学校関係者、市民等に広く周知(教育の市民化)
  - ・学校・家庭・地域の連携・協力の具体(口頭)
  - ・子どもの意欲、関心の向上

- 課題について

- ・アクションプランの実施について財政的な面での協力が困難なものがあるので、ゼロ予算事業の工夫と知恵が必要
- ・家庭、地域の理解・協力が今一步。啓発、参加の機会
- ・学校間の格差があるのは、校長のビジョンとリーダーシップ、マネジメント力の問題。それに対する行政の個別な支援が必要。特に、家庭・地域との関係をどのようにマネジメントをしていくかが大切

8 おわりに



富士宮ならではの魅力ある学校づくり

# 「富士山を心に、夢をもって 生きる子ども」を育てる

— 学校力育成のための 12 の提言 —

平成22年1月

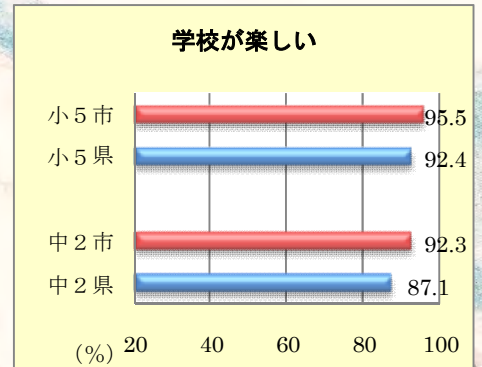
富士宮市 富士宮の学校力育成会議



# 1 富士宮の教育の現状と課題

## 富士宮の子どもたちは…

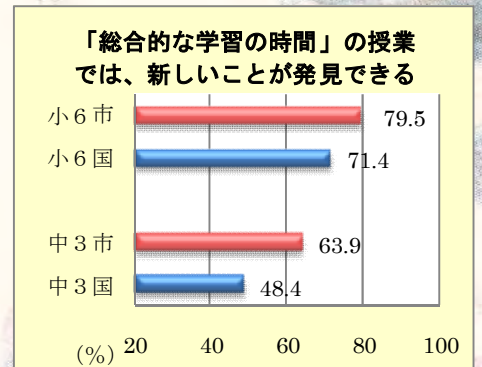
- あいさつがよくできる。
- 富士山学習PART IIに進んで取り組み、地域への関心が高い。
- 学校に喜んで登校する子どもが多い。
- 体力は全国平均より高い。
- 基礎・基本を身に付け、その力を実生活に結びつける必要がある。
- 基本的な生活習慣を身に付ける必要がある。
- 希望や夢を大切に、自信をもって生活することが望まれる。



H20 小・中学校における児童生徒意識調査(静岡県)

## 小中学校は…

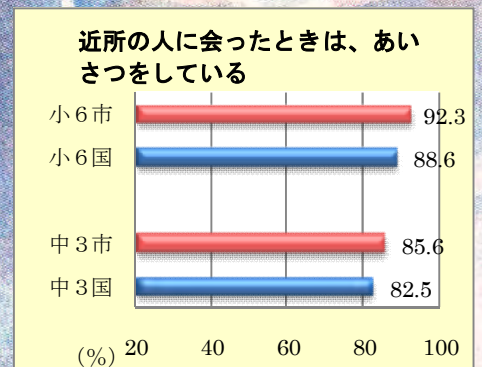
- 学級を基盤とした人間関係づくりに努めている。
- 富士山学習PART IIが、子どもの自ら学ぶ力を伸ばす学習になっている。
- 特別支援教育の推進に努めている。
- 校長のリーダーシップのもと、組織として一層機能する必要がある。
- 幼保・小・中学校間の円滑な接続が必要である。
- 富士山学習PART IIの一層の充実が必要である。



H20 全国学力・学習状況調査質問紙

## 教師は…

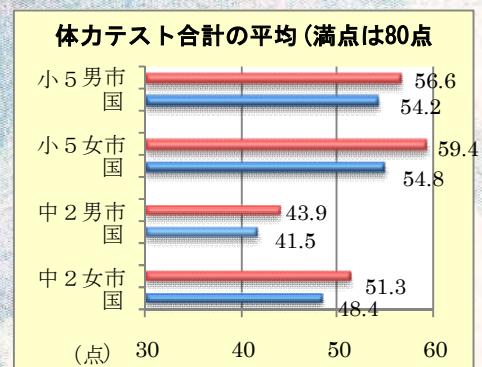
- 授業力向上に向け、研修を積んでいる。
- 一人一人の子どもを大切に、理解しようと努めている。
- 個別の対応にこころをこめて対応している。
- 子どもから一層信頼される教師となる必要がある。
- 授業力・生徒指導力の一層の向上が必要である。
- 子どもとじっくり向き合える時間の確保が必要である。



H20 全国学力・学習状況調査質問紙

## 学校と家庭・地域との連携・協力は…

- 学校に協力的な家庭が多い。
- 子どものために学校に協力している人が多い。
- 読書活動が盛んに行われている。
- 富士山学習PART IIを支える人が多い。
- さらに連携・協力できるよう、学校と家庭・地域をつなぐ体制づくりが必要である。
- 授業や学校行事等へ参観する機会を増やし、情報発信の工夫と配慮が必要である。
- 家庭が全ての子どもにとって、安らげる場所であるために、具体的な手立てを示す必要がある。



H20 全国体力・運動能力・運動習慣等調査